

平成28年12月8日

医療政策課感染症・がん対策班
担当：泉、竹野
内線：2466
電話：095-895-2466（直通）

インフルエンザが流行シーズン入り ～定点あたり報告数が1.07に～

平成28年第48週（11月28日～12月4日）の定点あたりのインフルエンザの患者報告数（平均患者数）が「1.07」※となりました。流行開始の目安としている「1.00」を上回ったことから、今年もインフルエンザが流行シーズンに入ったと考えられます。

今後、患者数が増加し、本格的な流行が予想されるため、県民へ予防策等の広報について、ご協力をお願いします。

※全報告数（75人）／県内定点医療機関数（70施設）

【インフルエンザ予防策等】

～かからない～

- 外出後は手洗いをしましょう。
- インフルエンザのワクチン接種は発症予防、重症化防止に有効なことから希望される方は早めに接種しましょう。（効果の出現までに2週間程度を要します）
- 体力が低下しないように十分な栄養と休養をとみましょう。
- 室内を乾燥させないようにし、また定期的に換気を行いましょう。

～うつさない～

- インフルエンザを広げないために『咳エチケット』を心がけましょう。

☆ 『咳エチケット』とは…

- ※ 咳やくしゃみが続いたら、他の人にうつさないためにマスクを着用する。マスクを持っていない場合は、ハンカチ、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔を背けて、1m以上離れる。
- ※ 鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨て、手のひらで咳やくしゃみを受け止めたときなどはすぐに手を洗う。
- ※ 咳やくしゃみは、手で覆わず、衣服の袖でおさえる。
- ※ 咳をしている人にマスクの着用をお願いする。

～早期受診～

- インフルエンザにかかったなと思ったら早めに医療機関を受診しましょう。
- 無理をして学校や職場などに行かないようにしましょう。

【過去5年間の流行入りの時期】

期間	長崎県	全国
2016/17シーズン	第48週（11.28～12.4）	第46週（11.14～11.20）
2015/16シーズン	第1週（1.4～1.10）	第1週（1.4～1.10）
2014/15シーズン	第45週（11.3～11.9）	第48週（11.24～11.30）
2013/14シーズン	第51週（12.16～12.22）	第51週（12.16～12.22）
2012/13シーズン	第50週（12.10～12.16）	第50週（12.10～12.16）
2011/12シーズン	第1週（1.3～1.9）	第49週（12.5～12.11）

【直近の県内インフルエンザ患者報告数（保健所管内別）】

2016/17 シーズン	長崎県										
		長崎市	佐世保市	西彼	県央	県南	県北	五島	上五島	壱岐	対馬
第48週 (11.28～12.4)	1.07 (75)	1 (17)	1.36 (15)	3 (18)	0.9 (9)	1.25 (10)	1.25 (5)	0.2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
第47週 (11.21～11.27)	0.77 (54)	0.47 (8)	0.73 (8)	0.33 (2)	2.1 (21)	1.63 (13)	0.5 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
第46週 (11.14～11.20)	0.9 (63)	0.24 (4)	0.55 (6)	0.17 (1)	1.3 (13)	3.13 (25)	0.25 (1)	0.8 (4)	0 (0)	0.33 (1)	2.67 (8)
第45週 (11.07～11.13)	0.54 (38)	0.06 (1)	0.09 (1)	0.5 (3)	0.6 (6)	1.63 (13)	0.75 (3)	0 (0)	2.33 (7)	0 (0)	1.33 (4)
第44週 (10.31～11.06)	0.47 (33)	0.06 (1)	0 (0)	0.17 (1)	0.7 (7)	2.88 (23)	0.25 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
第43週 (10.24～10.30)	0.56 (39)	0.12 (2)	0 (0)	1.33 (8)	0.4 (4)	3.13 (25)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

※表内数値の上段は定点当りの患者報告数、下段（ ）内は患者総数(人)

【定点医療機関からの年齢別患者報告数(人)】

	0-9歳	10-14歳	15-19歳	20代	30代	40代	50代	60代以上	計
第48週	28	9	14	6	5	6	2	5	75
第47週	9	7	13	1	5	2	5	12	54
第46週	8	10	4	6	10	12	5	8	63
第45週	8	1	6	2	1	3	6	11	38
第44週	5	3	3	3	6	1	5	7	33
第43週	1	8	1	2	6	4	1	16	39
第42週	11	5	0	1	2	3	1	0	23

【ウイルス検出情報】

長崎県のインフルエンザウイルス遺伝子検査では、これまでに3検体中、3検体からA/H3型を検出しています。国立感染症研究所のまとめにおいてもA/H3型が86%を占めています。

(第47週現在 AH/3型:86%(275/320検体)、A/H1pdm2009型:11%(36/320検体))

【国立感染症研究所が定めるインフルエンザ流行レベルの目安】

【流行入り: 定点値1.00を上回った時】
○ インフルエンザ定点医療機関当りの1週間の報告数が「1.00」以上の場合、流行入りしたことの目安
【注意報レベル: 定点値10.0を上回った時】
○ インフルエンザ定点医療機関当りの1週間の報告数が「10.0」以上の場合、以降4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いことを表します。
【警報レベル: 定点値30.0を上回った時】
○ インフルエンザ定点医療機関あたりの1週間の報告数が「30.0」以上の場合、大きな流行の発生、または継続しつつあることが疑われることを表します。なお、警報は1週間の報告数が「10.0」となるまで継続し、 <u>「10.0」を下回った時点で自動的に解除</u> されます。

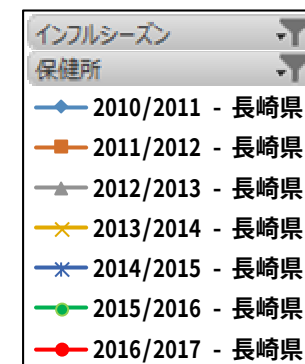
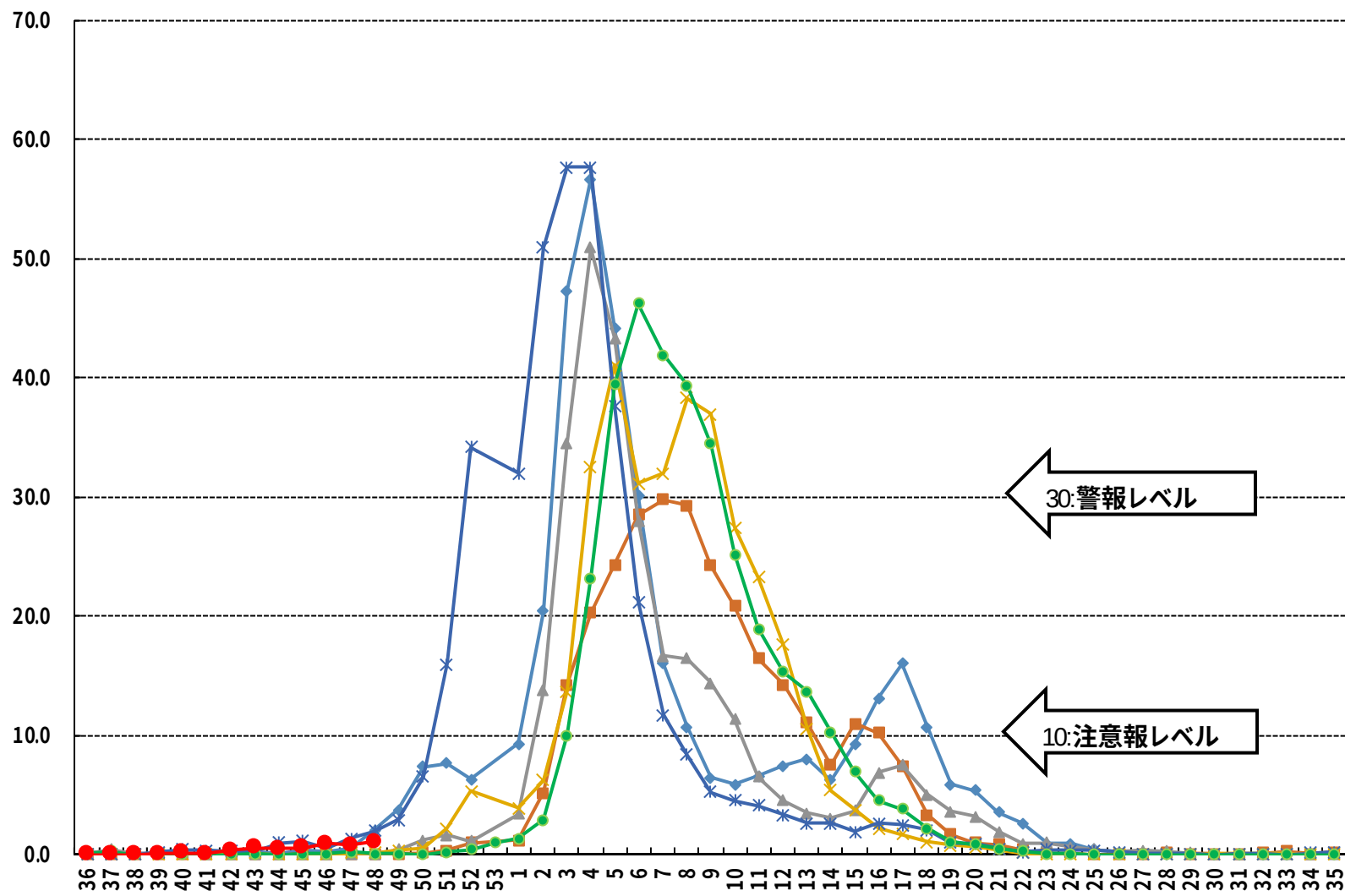
【参考リンク】

長崎県 「季節性インフルエンザ」

<https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/hukushi-hoken/kansensho/kansenshou/influ/>

長崎県インフルエンザ発生動向 (2016/2017シーズン 第48週 11月28～12月4日 現在)

合計 / インフルエンザ定当



30:警報レベル

10:注意報レベル